



JR連合青年・女性委員会

第22回ユースラリー in 北海道



テーマ

道 ～なまら広がる仲間の環～

平成29年5月27日～29日の3日間、JR連合青年・女性委員会主催「第22回ユースラリー in 北海道」が小樽・札幌にて開催されました。JR連合に加盟する全国各地の単組、地協、エリア連合の参加者及び北海道地協を中心とした実行委員など総勢104名が集結しました。

JR四国労組からも5名が参加し、レクリエーションやウォークラリーを通じて普段なかなか会うことのできない全国の仲間達と「横のつながり」を深めると共に、「民主化闘争」の学習会をとおして民主化の難しさや団結することの重要性について理解を深めることができました。

1日目： 団結ゲーム・BBQ



1日目は小樽駅に集合し、バスで『おたる自然の村』へ向かいました。まだ雪が残る大自然に囲まれた山の中で開会式を行ない、チームに分かれて団結ゲームを行いました。



緊張する～

団結ゲームでは、みんなでかるた・ピンポンリレー・つないで紙飛行機・かぶっちゃや～よ・難読駅名クイズなどのゲームを行い、体を動かし、時には頭を抱えながらチームで行動していくうちに、徐々に緊張もほぐれ積極的に声を掛け合っていました。

BBQでは心配されていた天気も回復し、ホタテやジンギスカンなど北海道のごちそうに舌鼓を打ちながら、他労組の参加者と交流を深めました。

2日目朝：ウォークラリー（小樽・札幌をチームで散策）



小樽・札幌の名所やグルメを満喫!



2日目のイベントは、チームに分かれ小樽・札幌のエリアの各チェックポイントを自由に散策するウォークラリーです。おたる自然の森をスタートに札幌市のテレビ塔前をゴールとして、全チーム元気よく出発していきました。各地のチェックポイントを巡り、写真を撮影し問題を解いてポイントを争いました。各チームの戦略はまちまちで、徒歩中心に攻めたり、電車やバスを効率的に使ったり、ただただ楽しむことだけを考えるチームも！エリアに関するクイズに悪戦苦闘しながらも小樽・札幌のグルメや観光地に没頭し、時にはミッションを忘れたりもしながら、ウォークラリーを満喫しました。チームそれぞれの楽しみ方で絆を深め、初日以上に単組の枠を越えた交流ができました。

2日目夜：交流会 & ウォークラリー結果発表

夜には、JR北労組の田原委員長より激励を受け、播磨事務長の乾杯で交流会スタート！お楽しみウォークラリーでの結果発表では会場は歓声や笑い声で包まれました。この2日で結束力も強まり、参加者全員と交流し、最後の夜を多いに楽しみました。



仲間ってなまら最高!!



四国のくせがすごい~~~



3日目：学習会「民主化闘争について」

初めに実行委員の三星事務局長からJR北海道の現状と現在抱えている課題についての説明があり、JR連合青年・女性委員会の新倉議長よりJR北海道における労働組合の現状とJR労働界の現状についての提議を受けました。その後、各グループごとに「あるべき労働組合とあるべき労使関係とは」というテーマについてディスカッションを行いました。各単組での組織構成や抱えている課題が違うことから、自分たちでは考え付かないような発想や意見がある一方、労働組合のあるべき姿や会社との関係性といった議題では皆の意見がまとまることもあり、同じ目的を持って組合活動をする大切さを再確認できました。



一人ひとり真剣に取り組みました!



全国の仲間との絆

学習会では労働組合を取り巻く情勢や課題について全員で考えて情報を共有し、それを次に伝えていくことの難しさと重要性を再確認できました。最後に新倉議長から「今回の経験を自分一人のものせず、単組や所属分会のみんなに伝えてほしい」とお話が合ったように、今後本部青女や支部青女で労働組合の課題や意義について伝える活動を積極的に行いたいと思います。

最後に笹岡議長より一言

参加者の皆さん、おつかれさまでした!

ユースラリーを通じてJR連合青年・女性委員会の皆さんとの「仲間の環」を上げられた3日間だったと思います。また、レクだけではなく、学習会を通じて正しい知識を身に付けると共に情報の共有化を図れた事と思います。最高の思い出や学んだことをJR四国労組の青女の仲間にも共有していきましょう!!

青女の皆さんまずはレクから組合活動に参加してみてください。お待ちしております!!



次は君が参加者だ!!